

伊賀市議会 だより

No.74
2023.8.1

行ってみよう
聞いてみよう!

西柘植地区市民センター
西柘植地域まちづくり協議会



<主な掲載内容>

- 6月定例会・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- 市政を問う 一般質問・・・・・・・・P 5
- 活動報告 所管事務調査・・・・・・・・P11
- 令和4年度政務活動費の報告・・・・P12
- インタビュー 人と地域がつながって
イキイキ活動紹介・・・・・・・・P14



6月定例会

6月9日～6月30日（会期22日間）
補正予算や条例の改正などを含む41件の議案を審議

伊賀市行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例の一部改正

全員賛成で
可決

伊賀市行政サービス巡回車について、島ヶ原地域に新たな運行形態であるデマンド型運行便を導入するにあたり、その運行区間及び使用料を定めるほか、回数券の種類を追加する改正を行います。

質疑（総務常任委員会 6月22日）

問 島ヶ原・小田町区間を片道 500 円の料金に設定した根拠は。

答 伊賀市地域公共交通計画に定める収支率 16%以上を超える金額であることと、他の公共交通機関とのバランスを考慮します。

問 今後、他の地域にも広げていくのか。

答 他の地域の方にも自分の地域で導入できるかどうか見ていただき、他の地域での導入についても話し合いをしていきたいです。



伊賀市手数料条例の一部改正

全員賛成で
可決

住民票の写しや課税証明書などに係る手数料をコンビニ交付及びオンライン申請の場合には1件につき 10 円とする特例について、その期限を令和6年3月31日まで延長します。

また、当該証明書等の交付について、令和6年4月1日以降の手数料を1件につき 200 円に改めます。

質疑（総務常任委員会 6月22日）

問 コンビニ交付等交付率 40%の目標達成に向け、コンビニ交付等の認知度をどのように上げるのか。

答 窓口にフロアマネージャーを配置し案内をしています。



伊賀市上野図書館設置条例の一部改正

賛成多数で
可決

上野図書館いがまち図書室を民間事業者が新堂駅前に整備する複合施設に移転するため、条例に定める位置を「下柘植 702 番地」から「新堂 313 番地 19」に改めます。

質疑（教育民生常任委員会 6月22日）

問 移転に伴う休館期間はどれくらいか。また、移転後の開館に伴う住民への周知時期はいつごろからか。

答 休館期間は約2ヶ月間を予定している。開館に伴う周知は、なるべく早い時期からホームページや広報に掲載する。また、館内掲示やチラシ配布なども行います。

問 民間事業者の蔵書は、貸し出しすることができるのか。

答 貸し出しはできず、館内での閲覧のみとなります。



討論（教育民生常任委員会 6月22日）

反対 貸し出しできない部分があることなどについて周知徹底されていないため。また、運営について現在の委託業者との関係に不安が残るため。

反対 方向性は良いが、調整中の部分が多く現時点での説明では不十分であるため。

討論（本会議 6月30日）

賛成 障がいのある方や日本語を母語としていない方等も利用しやすいよう、点字図書、録音図書、字幕付映像資料、LLブック（やさしく読みやすい本）などの充実にも努めてもらいたい。

反対 個人情報の保護や再委託への不安、蔵書数の減少など、公共図書館の役割を民間事業者が担う場合については不安な点が多い。また、説明において市の主体性や責任が感じられない。本議案は、単に設置場所の変更にとどまらない内容が伴うものであり、現時点では公共図書館サービスの低下が懸念されるため。

反対 公共図書館における個人情報の取り扱いなど重要な業務運営について、現状では事業者との調整が出来ていない。移転を進めていく方向性については理解できるが、業務の運営を民間事業者が行う場合の公共図書館の使命をどう担保するのかなど確たる構想を示したうえで、移転の条例改正などの手続きを進めるべきと考えるため。

令和5年度一般会計補正予算（第3号） 3億5,111万3千円の増

全員賛成で
可決

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増への支援として、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円を給付するための所要額の追加。

- 住民税非課税世帯等物価高騰支援給付事業
価格高騰緊急支援給付金等

3億5,111万3千円

令和5年度一般会計補正予算（第4号） 5億9,961万円の増

全員賛成で
可決

物価高騰に直面する市民等への支援として、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業や、三重県による低所得のひとり親世帯への生活応援給付金に関する経費のほか、マイナポイント申請期限の再延長に伴う窓口業務経費、普通財産管理及び取得事業に係る経費、コミュニティ助成事業に係る経費など所要額の追加。

【主なもの】

- 伊賀鉄道活性化促進事業
伊賀鉄道電力料金高騰対策助成金 2,857万円
- 三重県子育て世帯生活応援給付事業
低所得のひとり親世帯への生活応援給付金等 1,626万7千円
- 上水道事業
水道基本料金4ヶ月間減額（請求月：令和5年8月から令和5年11月） 1億4,892万3千円
- 商工振興経費
中小企業エネルギー価格高騰対策事業継続支援金等 3億1,943万円
- 窓口業務経費
窓口業務委託料 578万6千円
- 普通財産管理及び取得事業
市有地測量業務委託料（旧上野商業高等学校用地ほか） 1,664万5千円
- 自治振興経費
コミュニティ助成金 3,030万円
- 保育所管理運営事業
システム（保育システム（仮称））等使用料等 1,642万8千円

質疑（予算常任委員会 6月26日）

問 保育システム（仮称）を導入することで期待できる効果は。

答 保育事務のICT化により、保育士の負担軽減やこどもと関わる時間を増やすなど、保育の質を向上させることが期待できる。

問 中小企業エネルギー価格高騰対策事業継続支援金の申請手続きの周知期間及び申請期間は。また、対象企業に社会福祉法人を含めなかった理由は。

答 7月中を周知期間とし、8月1日から11月末までを申請期間とする。また、中小企業基本法第2条第1項に規定する中小企業施策を対象とする中で、同法上の中小企業者の定義に当てはまらないため、対象としなかった。

令和5年度水道事業会計補正予算（第1号） 386万7千円の増

全員賛成で
可決

水道管路に係る耐震化及び更新のための基本計画の策定、料金システムの改修等に伴う経費の追加。

- 水道事業費用
上水道管路更新計画策定業務委託料 ほか 1,786万1千円
- 資本的支出
上水道管路更新計画策定業務委託料（上記水道事業費用へ振替） △1,399万4千円

質疑（予算常任委員会 6月26日）

問 上水道管路更新計画策定業務委託の入札方法は。また、計画の完成時期は。

答 入札方法は、一般競争入札を考えている。また、計画は令和5年度内の完成を予定している。

審議した議案と各議員の賛否

6月定例会

○：賛成 ×：反対 -：近森議員は議長のため採決に入っていません

件名	賛成 反対	議決結果	北	釜	西	西	濱	増	森	川	北	西	福	宮	桃	山	市	赤	田	上	近	中	百	中		
			山	井	條	田	瀨	田	中	上	森	口	岡	崎	井	下	川	堀	中	田	森	谷	上	岡		
市長 提出議案			○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	19：2	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	15：6	可決	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
全員賛成で可決（同意・承認を含む）した議案																										
市長 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度伊賀市一般会計補正予算（第3号） 令和5年度伊賀市一般会計補正予算（第4号） 令和5年度伊賀市水道事業会計補正予算（第1号） 伊賀市行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例の一部改正 伊賀市手数料条例の一部改正 伊賀市子ども・子育て会議条例等の一部改正 訴えの提起（4件） 工事請負契約の変更 													<ul style="list-style-type: none"> 事業契約の変更 専決処分の承認 農業委員会委員の任命 (玉岡 則生氏、門口 哲氏、森田 陽子氏、高田 満氏、西田 富司夫氏、大田 信昭氏、藤室 明生氏、木下 賢一氏、川口 一夫氏、中原 宏氏、福岡 健二氏、田中 康俊氏、池町 安雅氏、坂本 榮二氏、福地 和幸氏、山本 好啓氏、稲森 義隆氏、西尾 長彦氏、橋本 隆氏、折戸 八郎氏、喜多 正展氏、西口 育男氏、喜久永 富美代氏、森下 光子氏) 												
	議員 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市議会の定例会の回数を定める条例の一部改正 													<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市議会会議規則の一部改正 											

令和5年7月18日から通年議会が始まりました！ 会期は令和6年3月29日までです

■通年議会について

定例会の回数を年1回とし、会期を概ね1年間とします。

■通年議会導入の理由

- ・議長の判断でいつでも会議を開くことができるため、災害等の緊急な事態が発生した場合や、これまで市長が専決処分していた議案などを迅速に審議することができます。
- ・委員会を必要に応じて開催できるため、より慎重な議案審議や調査研究活動を行うことができます。

7月開会会議

7月18日

地方自治法第180条第1項の規定により市長において専決処分することができる事項の一部改正

全員賛成で
可決

通年議会を開始することに伴い、市長において専決処分することができる事項の一部を改正します。

議員永年勤続表彰

「第99回全国市議会議長会定期総会」及び「第106回東海市議会議長会定期総会」において、田中 覚議員が永年勤続表彰を授与されました。

議員永年勤続 10年表彰 田中 覚 議員

市政を問う

一般質問

一般質問は、6月16日、19日、20日の3日間で、18人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。

QRコードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧いただけます。

ますだ たけし
増田 雄 議員

質問項目

- 前向きな街づくり



問 中心市街地で土地区画整理事業を実施し、にぎわいの再構築を

答 公共インフラの整備とあわせた面的整備は有効です

にぎわい忍路回廊整備事業とあわせて、第3期中心市街地活性化基本計画の策定に着手しています。

土地区画整理事業は、土地の所有者等権利者の合意形成が必須ですが、面的整備には有効な手法の一つです。

日本の20世紀遺産20選のまちづくりの実現に向けて、地域住民と一体となって検討すべきと考えます。

このままでは「あかん」ということは、自明の理だと思います。

問 不登校児童・生徒への対応に、校内フリースクールの設置を

答 早急に進めていきます

不登校になりはじめたときに非常に有効との調査結果もあり、支援の方法の一つとして空き教室やスペース等を利用した校内フリースクールの設置に向けて、検討を進めています。

施設面で設置が可能な学校をモデル校とするなど、学習権の保障という意味からも、設置について早急に進めていきます。

問 当事者達や保護者達の声は届くのか

令和5年18歳成人式でのアンケートの回答では、ほとんどが20歳に戻してほしいとの意見があり、市長もケーブルテレビのインタビューで、皆さんのアンケートや意見でまとまっていく余地のある部分だと申し添えておりました。

20歳になってお酒を飲んだり、従来の成人式には同窓会的要素も含んでおり、産業振興にもつながります。

当事者の声は今後どのように反映させますか。

答 大人への自覚を持っていくのに意義がある

他所がやっていない事を恥ずかしがらず、他所ができない事をやっている事に誇りを持ってほしいです。

20歳になってお酒を飲みワイワイしたいなら、激変緩和の間だけですが、市の補助で自分達で二十歳の集いをすればよい。それが成人式とは思いません。産業振興というならば、従前通りの着物ではなく違った形の夏振袖や工夫をすればよい。

自己満足ではなく民法改正に則って行っているの、重々ご承知おきください。

きたもり とおる
北森 徹 議員

質問項目

- 令和5年の18歳成人式の総評



なかたに かずひこ
中谷 一彦 議員

質問項目

- 青山保健センター閉鎖に係る説明会
- 応急診療所の家賃



問 青山保健センターの地元説明に至るまでの経緯は

答 2024年3月末に閉鎖します

青山地域におきましては青山周辺施設を支所に複合化し機能を集約し、当初当該施設は2019年に貸付・譲渡としていましたが、2024年に延長しました。

2024年3月末に閉鎖することを2023年3月と5月に青山住民自治協議会会長連絡会に説明し、6月8日に運動施設利用者に説明しました。

問 市民が住み続けることができるまちづくりに健康・体力づくりの維持は市に責任があるのでは

答 施設利用者に代替案を示すことが重要です

当該施設計画10年が経過し、その間住民に進捗状況を説明する責任を果たせたか、他方財政の面から伊賀市民全体の福利の観点から一部地域・利用者に1人当たり10万円がかかっていることの妥当性があるのか。三番目の観点として、市として誰一人取り残さないことが大切であり、改めて説明会を開催する必要があります。

一般質問

いちかわ がくと
市川 岳人 議員

質問項目

●ワクワクする伊賀市へ
～街の活性化や雇用の創出に
つなげる～



問 意欲を持った方が新たに起業や出店をしやすい仕組み作りは

市内店舗の若返り・新陳代謝が課題であり、物件と事業者を繋げる受け皿や仕組み作りが必要ですが伊賀市はどのように取り組んでいきますか。

答 重要な課題として取り組みを拡大しています

新規創業を増やすため、令和元年度から「伊賀市起業・経営革新促進事業補助金」を実施し、市内で新たな事業の創出を行うものに経費の一部を補助しています。中心市街地を含めた創業ニーズは高い水準にあると分析しており、令和5年度は既存事業者の設備導入のニーズにも応えるため補助

金の上限を引き上げ、前年比2倍の予算に増額し事業を実施していきます。

問 城下町ホテルを里山の古民家を活用し郊外エリアに展開できませんか

答 古民家再生活活用指針において、城下町ホテルを地域の特性を活かして、中心市街地だけではなく郊外でも進めていくこととしています。今後は、郊外エリアでの事業展開も検討していきます

問 忍者体験施設が出来る事で、一定の誘客は見込めますが、そのみでは弱いのでは

上野城や東西大手門、外堀など市街地に存在した本物の文化財を復元させ、観光行政や防災の視点で再構築してはどうか。

答 財源の問題はあるが行いたい

城に関しては、市指定文化財のため復元することは難しいですが、東西大手門や外堀を復元させ、本物が市街地にある防災にも強い観光地を作りたいです。

問 大阪万博2025に登場する次世代型自走式ロープウェイ「Zippar」を市街地各所に設置し、更なる街のにぎわいを作り出すことはできますか

答 次世代ロープウェイ「Zippar」などは大阪万博でお披露目されると聞いています

地形の問題もあるので簡単な話ではないですが、提案も一つの可能性として、注視してまいりたいと考えます。

はませ たつお
濱瀬 達雄 議員

質問項目

●市民が住みよい町を見据えた観光行政



にしぐち かずしげ
西口 和成 議員

質問項目

●環境センターのあり方と今後
●特別職の公用車利用



問 2024年3月以降も環境センターは必要ではないですか

2002年4月に環境保全の地域拠点として建設されました。先人が残した恵まれた自然環境を次世代へバトンタッチするためにも、水質・臭気・振動・騒音の測定を行っている環境センターの役割は、重要です。市の責務として2024年3月以降も環境センターを残す必要があると考えます。

答 2024年3月以降も存続します
(副市長)

これからはGXの時代であり、環境行政は非常に重要です。建物改修や高度な測定機器以外の機器の更新も考えていきます。

問 特別職が公用車を利用する場合の基準を設けては

私的利用が疑わしい公用車の利用を市長がしていると報道されました。市民の誤解を招かないためにも、一定の公用車使用基準が必要だと考えます。

答 特別職の公用車利用のルールを制定します

伊賀市には、市長専用車はありませんが、他市の事例も勉強しながら特別職が公用車を使用する場合のルールを定めていきます。

一般質問

ももい ひろこ
桃井 弘子 議員

質問項目

●未来を見据えた街づくり



問 卸商業団地から南側を商業地エリアにすべきでは

持続可能な街づくりの見本として、卸団地から南エリアを区画整理し、また民間と協働して最優先で土地の再利用をすべきでは。2025年の大阪万博を見据えた時、2026年から卸団地の周辺整備の策定にとりかかるのではなく、スケジュールの前倒しをするべきでは。市長の考えは。

答 優先順位をつけて行っています

卸商業団地は市の土地もあるので、優先順位の第一です。2025年に向けていい街だと思っていただけるように何からすべきか考えます。

問 急性期の病院を一つ、他を慢性期にすべきでは

市民の命を守るため、伊賀地域の医療体制はどうあるべきか。どのようにしなければならぬのか。伊賀市の首長として先頭にたって決断していただきたい。

答 機能分化を進めることは重要課題であるということは、議員と同じ思いです

問 鍵屋辻・数馬茶屋が「閉鎖」と報道されました。今後の保存方針は

数馬茶屋が「耐震性不足で閉鎖」と報道されました。由緒ある建物、どう保存しますか。

答 すみやかに耐震補強を行います

いったん閉鎖し、すみやかに耐震補強等を行います。手続と工事に最短でも2年を要しますが、工事期間中も案内看板などで物語を伝えることを検討します。

問 芭蕉や藤堂藩の貴重資料多数を保管する新図書館地下書庫。浸水を確実に防ぐ方法は

旧上野市庁舎に整備される新図書館で、

貴重資料は地下書庫に保管する計画です。過去、降雨でたびたび浸水した旧庁舎。貴重資料を未来に遺す責任は市にあります。水没をどう防ぎますか。具体的に説明してください。

答 事業者も十分認識しており、対策を取ります

事業者は周辺駐車場からの雨水流入が主要因と判断しており、勾配改善、排水能力向上等の対策を取ると聞いています。要求水準に適合しているか、市として事業者提案を評価します。

もりなか ひであき
森中 秀哲 議員

質問項目

- 「鍵屋の辻史跡公園」の今後の整備計画
- 伊賀への愛着と誇りを高める「新図書館」のあり方



かまい としゆき
釜井 敏行 議員

質問項目

- 伊賀市の平和行政のあり方
- 伊賀市人権施策総合計画
- 市営住宅の今後のあり方



問 自衛隊への名簿提供の除外申請は

自衛隊の任務拡大を考慮し、除外申請(本人が申請書を提出すれば自衛隊に提供する名簿から除外)を制度化するべきではありませんか。

答 制度化を進めます

自衛隊の任務の拡大は認識しています。除外申請の制度化に向け事務を進め、準備が整えば周知を図ります。

問 同和行政不要論が差別につながるという根拠は

同和行政をなくした自治体で、差別が広がったという事例はありますか。ないのなら同和行政不要論が差別につながるという根拠は何ですか。

答 行政が差別解消に取り組まなかった時期を経ても差別がなくならなかったことです

そうした地域での市民意識の実例は把握していません。過去に行政が部落差別解消に取り組まなかった時期を経ても差別がなくならなかったという歴史的事実が存在することが根拠です。

問 市営住宅の子への承継を認めてはどうか

答 高齢者・障がい者等で特に居住の安定を図る必要がある方に限定しています

一般質問

やました のりこ 議員
山下 典子

質問項目

- 男女共同参画
- 耕作放棄地の再生
- 農福連携
- 子育て支援



問 防災会議における女性委員の割合は

防災会議に女性の視点を反映させるために、女性委員は重要です。現在の女性委員の割合は。

答 21.6%です

委員37人中女性委員は8人です。今後、委員の交代時などに女性委員のさらなる増加に努めます。

問 農福連携を推進するべきでは

農業の担い手不足解消のためにも、障がい者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいをもって社会参画を実現していく農福連携を推進するべきと考えますが、市の考えは。

答 これからますます重要になっていくと思いますので、市民と力をあわせていくべきだと考えます

問 子どもたちの第三の居場所をつくるべきでは

子どもたちが自ら選択して学び、社会的な育ちの機会や人間関係を育むことのできる安心・安全な家・学校に続く第三の居場所を確保するべきでは。

答 早い段階で設置していきます

国の指針に基づき設置をすべく、現在準備をしている段階です。

問 「再犯防止推進計画」の策定について伊賀市は今後どうされますか

答 第5次地域福祉計画の中に組み込み位置づけます

問 市直営のセンター職員を採用する際、業務の内容や服務規律、法律上の業務などの説明は誰がどのように指導していますか

答 所管する所属長などが説明や指導に当たっています

採用に当たっては、センター所長、センター事務員については、支所長が、また、生涯学習支援員については、生涯学習課の職員がそれぞれ遵守事項にあたる業務内容や服務規律などの説明を行っています。

併せて「伊賀市職員のサービスの宣誓に関する条例」に基づき、宣誓書に署名し提出いただいています。

なお、指定管理者制度を導入している市民センター職員は、住民自治協議会で雇用されていますので、地方公務員法は適用されません。

問 過去の不祥事に対する再発防止策は講じられましたか

答 全庁に服務にかかる注意喚起を強く促し、研修を重ねます

うえだ のりひさ 議員
上田 宗久

質問項目

- 「社会を明るくする運動」の強化月間を前にして
- 地区市民センター業務の管理監督と会計年度任用職員のコンプライアンス等



さいじょう えりこ 議員
西條 エリ子

質問項目

- ネーミングライツ（命名権）
- 子育て支援
- 子宮頸がんの撲滅に向けて



問 ネーミングライツ（命名権）の導入を検討しては

財源確保の方策としてのスポーツ施設等の公共施設などの命名権を企業が買い、施設名を企業名や社名ブランドに変更する手法です。これにより市は維持管理負担が減り企業側は維持費を負担するものの、企業の認知度向上や、地域貢献活動としての宣伝効果があります。

答 伊賀市ではガイドラインを設定し、随時募集を行っていますが、今一度、ネーミングライツ導入に向け、ホームページ等を活用して積極的に紹介し、実施できるよう努めています

問 保育所・幼稚園・認定こども園の情報の充実を

保育所を利用、またはこれから入所を考える子育て世帯に向けて、民間保育所や公立幼稚園のように公立保育所も情報発信をしていただきたい。

答 今後、入所の申込時期を目途にホームページに各園の紹介ページを設けるなど各園の保育内容や取り組みなど情報を見ていただけるよう対応します

一般質問

たなか さとる
田中 覚 議員

質問項目

- デジタル行政の取り組み



問 伊賀市は、危機的状態にあります

伊賀市の人口動態から、今後も労働力不足、消費の低下、公共サービスの維持困難、地域活性化の停滞などが危惧されます。

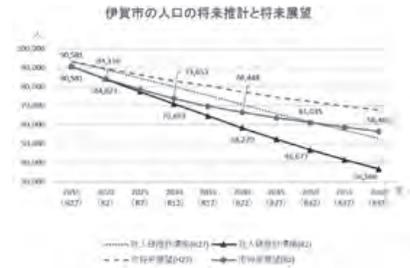
合併後、上野が損したとか阿山・名賀が損したとかの発想は、今さえ、自分だけ、一部の組織や地域だけ良ければ、などは従前の考えです。

デジタル技術の導入を契機に、市の一体化、市民や職員の意識改革、施策の見直しなど進めなくてはなりません。

市政府の覚悟をお伺いします。

答 市政府の考えをご理解いただいて嬉しく思います

人口カーブの見方が大事で、これより上げていかねばなりません。2040年には職員は25%減ると言われています。DXで代替できる仕事は代替し、市民とのふれあいの必要な仕事は職員で対応する。そのためDX活用も含めた職員の意識改革が必要です。



問 伊賀地域の高校のあり方に伊賀市としての姿勢を

「統合協議」対象であるあけぼの学園高校についての認識と伊賀地域高等学校活性化推進協議会の議論についての考えは。

答 特色ある教育を進める大切な高校です

美容学科をはじめとする多様な学習、個性に応じたきめ細かい指導、さらに地域と密着した特色ある教育を進めていただいていると認識しています。協議会には費用対効果ではなく魅力ある高校づくりと伊賀地域内において学びが保障される高校配置についての議論を働きかけます。

問 所得や伊賀鉄道利用に限定しない高校生の通学費支援を

答 奨学金の状況、市の財政、国の異次元少子化対策もふまえながら、要望として承ります

問 サークルの発表会活動への支援を

答 発表会活動の意義を重視して支援します

発表会開催の企画会議に社会教育指導員等が関わるとともに、活動への補助金や活動の存続に欠かせないサークル運営の事務スキル向上支援もしていきます。

にしだ みちかず
西田 方計 議員

質問項目

- 伊賀地域内におけるあけぼの学園高等学校存続の重要性
- 市としてできる高校生支援策
- 社会教育とまちづくり人づくり
- 農福連携の推進



みやざき えいき
宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 地域の魅力を高める「サイクルツーリズム」の推進に向けて
- 環境センターの機能の充実に



問 サイクルツーリズムの推進を

サイクルツーリズムは自転車を活用した観光です。自転車を旅の移動手段として、サイクリングと観光資源やグルメなどを楽しみ地域と触れ合うことで、観光振興や地域活性化が図れるといった取り組みです。

市内では、民間によりコリドールロードをコースとする「伊賀いち」という事業が進められていますが、今後の市の取り組みについて市長の思いをお伺いします。

答 みんなで取り組んでいきます

面白いプランだと思います。地域を愛する心を育むことや地域の産品に対する需要も期待されます。どのような形で取り組んでいくのか、検討していきたいと思ひます。

問 環境センターの人材確保と技術継承は

専門的な技能を有する職員が定年退職していきます。そのため、新たな人員の確保と技術継承が課題です。今後、どのように取り組めますか。

答 検討します

市役所では、化学の知見を有する職員が5人程度いますので、人事異動を検討していきます。

一般質問

ふくおか せいこう
福岡 正康 議員

質問項目

- 伊賀市中心市街地の活性化
- 伊賀市公共施設等総合管理計画と伊賀市過疎地域持続的発展計画
- 行政事務事業評価審査委員会



問 美術館・博物館の建設着手予定年度は

答 確定していません

建設準備委員会で基本構想を策定している段階で、その後基本計画を策定して建設します。

問 忍者回廊整備事業の契約金額は個々ですか

答 建設費と20年間の運営維持管理費の総額を64億1,898万9千円で契約しています

市が求める要求水準に基づき対価を支払う契約で、それぞれの事業内訳が変わっても変更せず、総額64億1,898万9千円も変更しません。

問 過疎債を利用して大山田地区の複合施設を考えませんか

昨年度より過疎債を利用できる阿山地域、青山地域、大山田地域が増えたので、国が財政的に特別に支援する過疎対策を進めてください。

答 協議していきます

公共施設最適化計画を策定した時点より条件がいろいろ変わってきていますので、庁内・地域の皆さんと協議していきます。

問 結婚、出産に対するあきらめを無くす取り組みは

結婚・出産は個人の自由な意思決定に基づくものですが、経済的理由や仕事と育児の両立が困難であきらめる人が増えています。あきらめないための取り組みを伺います。

答 企業を訪問し育児・介護休業法の啓発を行っています

職員が事業所を訪問し、出産、育児による離職を防ぎ、仕事と育児が両立できるよう様々な制度を啓発しています。また企業同士で、託児所の設置やハラスメント防止など労働環境の整備を呼び掛けていただいています。

問 低学年が入れない学童保育への対応は

答 定員を増やすなど協議します

問 育休退園を廃止に

出産のため育児休暇を取ると、2歳までの上の子どもが保育園を退園になる育休退園は、赤ちゃんとおの子どもの育児が負担で、二人目を諦める要因にもなるため廃止すべきです。

答 重要なことですから廃止します

保育士の確保をしながら上の子どもの継続利用を進めてまいります。

ももがみ まな
百上 真奈 議員

質問項目

- 伊賀の少子化問題と対策
- 保育の充実
- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実
- 子どもの学びを地域で支える地域未来塾



あかほり くみ
赤堀 久実 議員

質問項目

- 環境問題
- デジタル化で「書かない窓口」の導入
- 指定避難所でもある学校施設のトイレ洋式化



問 不法投棄を発見したらどこに連絡を

市民の方から不法投棄を見つけたらどこに連絡をしたら良いかわからないと言われました。

民有地・山間部・河川などそれぞれ管轄部署が違うと思いますが、どこに相談すれば良いですか。

答 さくらリサイクルセンターで対応します

基本は、それぞれの所管する課が窓口となっていますが、さくらリサイクルセンターにご連絡いただければ、現場を確認して各担当部局と連携を取り協議をします。

問 再発防止策としての取り組みは

ゴミの処理後、再発防止が大事だと思います。市としての取り組みを教えてください。また、監視カメラの貸し出しは可能ですか。

答 啓発活動や環境パトロール等を行っています

草刈りやロープを張るなど、土地の所有者に対してお願いをし、啓発活動や環境パトロール等、再発防止に向けて行っています。監視カメラは貸し出し可能ですが、現在故障中ですので早急に修理をして貸し出しができるようにしたいです。



所管事務調査

■教育民生常任委員会■

6月5・22・23日、7月11日

新図書館の進捗状況について

教育民生常任委員会は、所管事務調査として新図書館の進捗状況について、6月5日、旧上野市庁舎の現地調査を行いました。現地で執行部から基本設計等の説明を受けた後に質疑し、さらに6月22日及び23日、新図書館基本計画との整合性等について質疑を行いました。また、6月18日には市民を対象とした事業者による説明会が行われましたが、その内容についても委員会で情報共有しました。なお、7月11日には、これまでの調査を踏まえ、市への提言について協議しました。

委員会における主な質疑

問 児童開架隣のトイレは男女兼用となっている。具体的な広さは。

答 児童用トイレに加え、大人用は多目的トイレを設置する。バリアフリーについては、三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例で求められている通路幅を確保している。

問 救護室や対面朗読室が、奥の方になっている。この位置で良いと考えているのか。

答 中2階のレイアウトは、ゾーニングの具現化と共に継続して検討していく。



旧上野市庁舎現地調査の様子

■総務常任委員会■

6月22日

- ①「伊賀市土砂等の埋立て等による土壌汚染及び災害の発生の防止に関する条例」の附帯決議に対する対応について
- ②「荒木近隣肥育牧場による悪臭対策等についての請願書」のうち「臭気指数導入」に対する対応について

総務常任委員会では6月議会会期中、過去、議会が決議した附帯決議や採択した請願の現状を、環境センターに聴き取り調査しました。

- ①議会は平成30年に「市土砂条例」を制定した際、「目的が達成されたか、見直しの必要はないかを3年以内に第三者機関を設置して検討する」ことを求めました。聴き取りの結果、「条例施行後、令和2年の県条例施行やコロナ禍での工事案件減少もあり、市条例の定める届出があった件数は2件。1件は県条例対象、他1件はすでに終了している。」ということがわかりました。まだ実績件数が少ないため、引き続き、状況を把握していきます。
- ②「悪臭対策等請願書」で求められた「悪臭規制への臭気指数の導入」については、悪臭の訴えがあった地域で実際に臭気指数を複数回測定した結果、導入実績のある県内自治体の基準値をほぼ下回っていることがわかりました。今後、環境審議会でも臭気指数規制導入の効果と影響が審議される予定です。

■産業建設常任委員会■

6月23日

- ①上下水道事業の包括的民間委託について
- ②空き家対策について

①維持管理での技術水準の維持、管理体制の確保、各種業務の効率化、コスト縮減などを目的として、上下水道施設を一体管理する包括的民間委託につき説明を受けました。

水質管理は市で行う、総合窓口の設置で利便性が向上するなど説明があり、上水道の有収率が83.2%と低く、耐震管への入れ替えも進んでいないとの指摘もありました。

②空き家への重点取り組みとして、意識の醸成など発生抑制や、空き家バンク、相談窓口など活用促進の取り組みにつき説明を受けました。

店舗への合併処理浄化槽補助金、城下町ホテル事業、代執行の条件、民間不動産業者との連携などにつき質問がありました。

また、今年度、市の補助金を活用して空き家対策及び移住促進に取り組む玉滝地域まちづくり協議会から、空き家実態調査やその利活用など、現地で聴き取りを行いました。



玉滝地区市民センターでの現地調査の様子

令和4年度の政務活動費を報告します

交付の趣旨 政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。

交付対象と額 請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。(月額2万円)

報告 交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。

返還 残額がある場合は、返還します。

収支報告書写しの閲覧 場所：議会図書室（市役所本庁舎5階 議会事務局内）
時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページでの公開 収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。



令和4年度 政務活動費 議員別収支報告書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

議員氏名	交付額	交付対象額	残額	報告内訳					報告額合計
				調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	
				視察等の調査研究に関する経費	研修会等に参加する経費	活動、市政について住民に報告するために要する経費	活動に必要な資料を作成する経費	図書や資料等を購入する経費	
北山太加視	220,000	46,370	173,630	0	0	0	0	46,370	46,370
釜井 敏行	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
西條工リ子	240,000	162,435	77,565	0	156,774	0	0	5,661	162,435
西田 方計	240,000	239,199	801	18,320	0	0	0	220,879	239,199
濱瀬 達雄	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
増田 雄	240,000	110,458	129,542	0	87,814	0	0	22,644	110,458
森中 秀哲	240,000	199,110	40,890	16,100	95,194	0	0	87,816	199,110
川上 善幸	240,000	240,000	0	11,000	232,188	0	0	0	243,188
北森 徹	240,000	165,185	74,815	11,000	103,458	0	15,840	34,887	165,185
西口 和成	240,000	240,000	0	11,000	208,618	0	0	49,948	269,566
福岡 正康	240,000	86,307	153,693	71,500	0	5,000	7,920	1,887	86,307
宮崎 栄樹	240,000	113,166	126,834	31,440	7,550	0	0	74,176	113,166
桃井 弘子	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
山下 典子	240,000	105,740	134,260	0	0	0	0	105,740	105,740
市川 岳人	240,000	137,759	102,241	0	99,110	0	16,005	22,644	137,759
赤堀 久実	240,000	46,012	193,988	0	42,657	0	0	3,355	46,012
田中 覚	240,000	240,000	0	300,000	0	0	0	2,110	302,110
上田 宗久	240,000	58,318	181,682	0	41,868	0	15,840	610	58,318
近森 正利	240,000	93,090	146,910	0	74,100	0	15,840	3,150	93,090
中谷 一彦	240,000	2,200	237,800	0	0	0	0	2,200	2,200
百上 真奈	240,000	41,800	198,200	0	26,000	0	0	15,800	41,800
合計	5,020,000	2,327,149	2,692,851	470,360	1,175,331	5,000	71,445	699,877	2,422,013

※中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。

※「広聴費」、「会議費」、「人件費」、「事務所費」については全議員支出がなかったため、掲載していません。

令和5年9月定例会会議日程（予定）

会議期間28日間

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	1 本会議 (議案上程等)	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問) 終了後 決算常任委員会	14 各常任委員会 (予算・決算を除く) 終了後 決算分科会	15 各常任委員会 (予算・決算を除く) 終了後 決算分科会	16
17	18 敬老の日	19 各常任委員会 (予算・決算を除く) 終了後 決算分科会	20	21	22 決算常任委員会 終了後 予算常任委員会	23 秋分の日
24	25	26	27	28 本会議 (採決等)	29	30

- すべての会議は、午前10時から始まります。また、日程は、変更になる場合があります。
- 決算議案は、総務・教育民生・産業建設のそれぞれ3つの常任委員会委員で構成する決算分科会を設けて、より詳細な審査を行うこととしています。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸し出ししています。希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴できます。議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひお越しください。

YouTube

市政への関心を深めていただけるよう、市民の皆さんへの情報提供媒体として、YouTubeに「伊賀市議会チャンネル」を設け、議会審議・審査等の状況を録画配信しています。ぜひご覧ください。



運用方針等は、伊賀市議会ホームページに掲載しています。ご利用にあたっては、運用方針の内容に合意のうえ、ご利用くださいますようお願いいたします。

会議録 検索システム

過去の本会議や委員会の会議録は、伊賀市議会ホームページで検索できます。



LINE

伊賀市議会に関する情報を発信しています。ぜひ「友だち追加」をお願いします。



友だち追加QRコード

アカウント情報等

- ソーシャルメディアサービス名：LINE
- LINE表示名：伊賀市議会
- LINE ID：@441kjazj

友だち追加方法

スマートフォンなどにLINEアプリをインストールして、次のいずれかの方法で「友だち追加」してください。

- 方法1：メニューの「友だち追加」で「ID検索」を選択して、「@441kjazj」と入力して検索
- 方法2：QRコードを読み込んで「友だち追加」

編集 後記

広報広聴委員会は新しく生まれ変わります。これまでは市民の皆様へいかに分かりやすく市の情報を伝えられるかを中心に「伝える」努力を行ってきましたが、今年度は情報がどれだけ伝わったかを「伝える」という意識で情報発信と生活課題改善のための情報収集をしていきます。

今回新事業として、こども議会の開催と若年層を対象としたタウンミーティングの開催も予定しています。これからはさらに伊賀市の未来を担う若者の声有形になり、市政に反映することができる未来を描いていきます。（川上 善幸）

次号は11月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

人と地域がつながって イキイキ 活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介するコーナー第1弾。

今回は、西柘植地域まちづくり協議会 おくざわしげひさ 奥澤重久 会長にインタビューしました。



生涯学習支援員 会長 事務局長 事務局
川村剛司さん 奥澤重久さん 山本義嗣さん 楠田伸明さん

Q：西柘植地域はどんなところ？

A：企業の地域貢献があり、住民の要望でコインランドリーや街灯を設置してくれました。
また、新しい支所が入る建物には図書室も設置されます。子ども達が安心して勉強できる場所になることを期待しています。

Q：指定管理者制度に取り組んだ理由は？

A：自分達の地域を自分達で活性化するため、旗振り役になって、地域力をつけたいと思いました。

Q：どんな活動をしていますか？

A：年1回、西柘植地区環境整備の日を定め、地域住民と一緒に草刈りやゴミ拾いをしています。
地域の皆さんの活動費負担を少なくするため、プロジェクターやスクリーン等備品の貸し出しやコピー機使用は無料としています。
小中学校に積極的に様々な意見を伝えています。言うだけでなく、学校の木の伐採や草引き等、できることはお手伝いさせてもらっています。
子ども達が集える野外活動施設「チンチロリン村」を運営しています。六畳二間の建物と本格的な天体望遠鏡や陶芸ができる設備があり、バーベキューやキャンプもできます。田植え体験も構想中です。



陶芸窯

Q：指定管理者制度のメリットは？

A：職員の雇用や勤務条件について柔軟に決められること、企画運営がスムーズに進むことです。
行政にその都度確認しなくても、自分達の事業を企画、決定できるので、いろいろなことが実施しやすくなりました。

Q：指定管理者制度のデメリットは？

A：会計区分が増えたことに伴って、会計事務が煩雑になり、事務量が増えたことです。

Q：今後の方向性は？

A：記録より記憶に残る活動を目指しています。
ミニギャラリーやカフェスペースを設置して、地域住民の居場所作りをしたいと思っています。



天体観測室

長年まちづくり協議会に携わっている奥澤会長と、地域を支えるみなさんの「地域をよくしたい」との熱い思いが伝わってきました。
これからも豊富なアイデアと行動力で、地域の活性化のためにご活躍を楽しみにしています。